

柳川郷土研究会  
会誌「水郷」付録

すいきょう

# 瓦版

発行所 柳川郷土研究会  
柳川市本城町 113-1  
発行人 武松 豊  
編集責任者 金子俊彦



## 土竜(もぐら)の唄き

平成二〇年度の芥川賞を授賞したのは、中国の作家馬虎(まこ)である。彼女は中国の真面目な女性であると言っている。中国の女性で日本に留学し、日本語が上手な女性もいる。王敏先生は「日本人が行動を起こすときは必ず美しさを考える。茶道も華道もそこからは生まれてくる。又、「贈り物をするときは、実際にカバレイに包装し、洋式便器には、これにアメリカにもヨーロッパにもない文化です。この美を重んずる心がモノ造りに現れ、世界の冠たる製品を生み出し、町で、諸処に残った武家屋敷と堀割の織り成す風情が白秋を生んだ。しかし、現在では武家屋敷も少なく寂しい気がする。それでも緑と空の広さを得ていせる。長閑さが観光客からは好評を得ている。柳川は地盤軟弱のうえ地下水に含まれる塩分を考える企業誘致は非常に重要な産業である。そのためには堀の水量と透明度の向上が欠かせない。行政も努力してあると思うが、市民もポイ捨てなど絶対しないこと。それと、水郷(すいきょう)と呼ばれること。水郷(すいきょう)という言葉に濁りのなかつた白秋時代(土竜)に戻りたいと願望している。